

天気マークの見方

天気マーク					
	特に好転	好転	まあまあ	悪化	特に悪化
DI値水準	25以上	10~24	9~▲9	▲10~▲24	▲25以下

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)  
 ※ ( ) は前期 (2014年4月~6月) 調査結果

鹿児島商工会議所

# 景況調査

【2014年7月~9月期】

緩やかながらも、景況感は持ち直しの動き。消費税増税による駆け込み需要の反動から回復に期待。

当商工会議所が実施した今期（7月~9月）の中小企業162社の景況調査結果によると、全産業の業況DIは▲16・0となり、前期（4月~6月）の業況DI▲19・4と比べて3・4ポイント「P」の改善となった。また、業況以外の売上額・採算の項目においては「悪化」の状況にあるものの、前期と比べて改善しており、依然として弱さはあるが、若干の回復の兆しが見られる結果となった。業種別に見ると、公共工事等の増加により

建設業の業況は大幅に改善。サービス業においてもマイナス幅が縮小した。その一方で、卸売業においては、これまで2期連続で回復傾向にあったものの、今期はマイナス幅の拡大がみられた。来期（平成26年10~12月）の全産業の業況DI見通しは▲0・6（前期比+10・0P）で、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が和らぐことによる景況好転への期待がうかがえる。

回答先からは、「円安による原材料高騰を売価に転嫁できず、利益確保が困難」（製造業）、「インターネットでの低価格販売への対応が急務」（サービス業）との声があった一方、「二時的ではあるが、太陽光発電設置による売上が大きかった」（建設業）、「来期の景況好転を見据えて県外への販路拡大に注力している」（卸売業）とのコメントが寄せられた。

	全産業		製造業	
	今期	来期見込	今期	来期見込
① 業況	 悪化 ▲16.0 (▲19.4)	 まあまあ ▲0.6 (▲10.6)	 悪化 ▲14.3 (▲10.7)	 好転 14.8 (▲3.7)
② 売上額	 悪化 ▲15.5 (▲17.0)	 まあまあ ▲0.6 (3.1)	 悪化 ▲21.4 (▲35.7)	 好転 14.8 (11.1)
③ 資金繰り	 まあまあ ▲9.4 (▲9.9)	 まあまあ 0.6 (1.3)	 まあまあ 0.0 (0.0)	 好転 15.4 (11.5)
④ 採算	 悪化 ▲14.0 (▲22.7)	 まあまあ 2.6 (▲6.2)	 まあまあ ▲3.6 (▲10.7)	 好転 11.1 (14.8)

	建設業		卸売業	
	今期	来期見込	今期	来期見込
① 業況	 まあまあ 6.9 (▲22.2)	 好転 10.3 (▲3.8)	 特に悪化 ▲60.0 (▲31.0)	 特に悪化 ▲29.2 (▲10.7)
② 売上額	 悪化 ▲20.7 (▲7.4)	 好転 17.9 (3.7)	 特に悪化 ▲52.0 (▲24.1)	 悪化 ▲16.0 (▲3.4)
③ 資金繰り	 悪化 ▲10.3 (▲7.7)	 好転 14.3 (▲3.8)	 悪化 ▲20.0 (▲17.2)	 悪化 ▲12.0 (3.6)
④ 採算	 悪化 ▲13.8 (▲22.2)	 好転 10.7 (▲22.2)	 特に悪化 ▲36.0 (▲41.4)	 悪化 ▲12.0 (▲3.4)

	小売業		サービス業	
	今期	来期見込	今期	来期見込
① 業況	 悪化 ▲20.0 (▲21.9)	 まあまあ ▲6.3 (▲15.6)	 まあまあ ▲4.5 (▲14.3)	 まあまあ 2.3 (▲14.6)
② 売上額	 まあまあ ▲8.8 (▲34.4)	 まあまあ ▲2.9 (▲3.1)	 まあまあ 6.7 (4.1)	 悪化 ▲11.6 (6.3)
③ 資金繰り	 悪化 ▲17.6 (▲25.8)	 まあまあ ▲6.1 (▲9.4)	 まあまあ ▲2.2 (▲2.1)	 まあまあ ▲4.7 (4.2)
④ 採算	 まあまあ ▲9.4 (▲37.5)	 まあまあ ▲6.3 (▲15.6)	 悪化 ▲11.6 (▲8.5)	 まあまあ 7.3 (▲4.3)